

平成22年度当初予算の概要

- 重点分野に傾斜配分するとともに、平成25年度までの4年間にわたる財源不足の解消を念頭に編成
- 歳入では、法人事業税、法人県民税の法人二税で、企業収益の悪化や法人事業税の一部国有化の影響が通年化することにより対前年度比29.9%減など、県税収入合計で2,101億円、対前年度比12.6%の減となるが、特例的な県債の活用や株式等の売却による財産収入等での収入確保、国の交付金により造成した基金等の最大限活用等により財源を確保
- 歳出では、引き続き職員給料の削減等により人件費総額を大幅に抑制するとともに、徹底した経費削減を図る一方、「県民生活を支える雇用の創出」、「次世代の育成」、「安心できる生活環境の確保」、震災対策等の「持続的な社会の基盤づくり」について、特に重点的に措置
- このうち、一般会計については、補助公共事業の減、職員給料の削減等による人件費抑制を実施した一方、国の補正予算に対応し造成した各種基金を活用し、雇用確保のための事業や介護基盤の整備事業等を増加させたほか、中小企業等の資金需要の増に伴い融資枠を拡大する経費等を計上し、対前年度比0.4%の増

＜当初予算の規模＞

(単位：百万円，%)

	平成21年度	平成22年度	増減率
一般会計	836,268	839,635	0.4
特別会計	210,677	236,704	12.4
準公営企業会計	23,426	21,186	▲ 9.6
公営企業会計	53,091	61,531	15.9
計	1,123,462	1,159,056	3.2

平成22年度当初予算における「富県宮城」関連主要事業と「みやぎ発展税」

(1)「富県宮城」関連主要事業

※網掛けの取組は、「みやぎ発展税」を活用(一部活用を含む)する取組である。

取組区分と事業名	担当部局	予算額(千円)	事業内容
1 育成・誘致による県内製造業の集積促進			
企業立地促進奨励金	経済商工 観光部等	468,000	県内に工場等を新設または増設した企業への奨励金
企業立地奨励金	経済商工 観光部	225,000	H19年度までの立地決定等企業への奨励金
みやぎ企業立地奨励金	経済商工 観光部	140,000	H20年度以降の立地決定等企業への奨励金
コールセンター等立地促進奨励金	企画部	23,000	コールセンター等立地企業への奨励金
開発系IT企業等立地促進奨励金	企画部	80,000	平成20年度以降の開発系IT企業等への立地奨励金
企業立地促進法関連産業集積促進事業	経済商工 観光部	400,000	市町村が行うオーダーメイド型工場用地造成事業等に対する無利子等貸付金
富県宮城技術支援拠点整備事業	経済商工 観光部	30,000	企業の技術高度化を支援する研究機器整備(味・香り評価装置)
自動車関連産業特別支援事業(人材育成含む)	経済商工 観光部	56,000	誘致企業とのマッチングや技術力向上を支援し、誘致企業と地元企業との取引を拡大
高度電子機械産業集積促進事業(人材育成含む)	経済商工 観光部	28,000	半導体製造装置等4分野への市場参入を支援し、誘致企業と地元企業との取引を拡大
富県創出県民総力事業	経済商工 観光部	15,110	「富県共創」の理念に沿った経済団体等の取組を促進する「富県創出モデル事業」等
2 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化			
県政テレビ・ラジオ広報事業	総務部	31,180	観光資源や食材・物産等の県外向け広報のためのBSデジタルテレビ放送の活用等
栗駒山麓観光再生支援事業	経済商工 観光部	164,000	誘客促進の取組やレストハウス等の再整備、観光施設整備資金に再生支援枠の創設等
みやぎe-ブランド確立支援事業	企画部	23,200	県内IT関連企業が実施する無償試用提供や商品開発への助成等
3 地域経済を支える農林水産業の競争力強化			
農商工連携加速化推進事業	農林水産部	8,053	マッチングフェア開催など農商工分野の連携による新商品・サービスの開発推進等
新世代アグリビジネス総合推進事業	農林水産部	96,882	経営基盤強化のための施設整備に対する助成などアグリビジネス経営体の育成を強化
みやぎの食料自給率向上県民運動推進事業	農林水産部	2,000	みやぎ食料自給率向上クラブを中心とした県民運動の展開、普及啓発等
こめ粉普及拡大プロジェクト推進事業	農林水産部	8,400	学校給食における米粉製品利用への助成など米粉の普及、販路拡大に向けた取組
4 アジアに開かれた広域経済圏の形成			
ロシアとの経済交流促進事業	経済商工 観光部	5,000	極東ロシアのハバロフスク見本市への出展、欧州ロシアのニジェゴロド州での商談会開催等
国際協力推進事業	経済商工 観光部	6,100	中国・吉林省、ロシア・ニジェゴロド州からの研修員受入
海外交流基盤強化事業	経済商工 観光部	6,400	経済交流の活発化に向けた友好州県等との訪問団の派遣・受入等
5 産業競争力の強化に向けた条件整備			
みやぎクラフトマン21事業	教育庁	32,000	工業高校等で企業OBなどによる実践指導により、ものづくり産業を支える人材の育成

取組区分と事業名	担当部局	予算額(千円)	事業内容
高度産業人材育成センター運営事業	経済商工観光部	23,500	自動車・高度電子機械産業の担い手として大学生等の高度産業人材を育成
中小企業経営安定資金貸付金等	経済商工観光部等	96,277,835	緊急保証制度に伴う資金需要の増加に対応し、セーフティネット資金融資枠を大幅に拡充
仙台国際貿易港整備事業(特別会計)	土木部	1,131,400	仙台塩釜港高砂コンテナターミナル拡張の整備促進等
有料道路料金割引社会実験事業	土木部	49,240	物流効率化や低コスト化のために県道路公社が実施する料金割引社会実験への助成等
大衡インターチェンジ(仮称)等整備事業	土木部	720,000	年度内に完成する予定の大衡インターチェンジ(仮称)とその関連道路の整備
6 その他(雇用の創出等)			
緊急雇用創出事業臨時特例基金事業	総務部等	7,408,945	一時的な雇用・就業機会の創出, 求職者総合支援センターによる相談等の支援体制整備
ふるさと雇用再生特別基金事業	企画部等	2,674,593	地域における安定した雇用の機会創出(雇用期間 原則1年以上)
みやぎEV・pHVタウン形成推進事業	環境生活部	1,000	EV(電気自動車)やpHV(プラグインハイブリッド車)普及に向けた体制の構築等

(2)「みやぎ発展税」活用事業(富県宮城推進基金充当事業)の概要

(単位:千円)

活用項目		平成22年度当初予算			平成21年度当初予算		
		事業数	事業費	うち基金 充当額	事業数	事業費	うち基金 充当額
産業 振興 パッ ケージ	企業集積促進	6	1,367,012	677,508	6	1,667,436	571,814
	中小企業技術高度化支援	5	96,400	93,992	5	117,000	117,000
	人づくり支援	7	79,906	51,720	6	87,700	66,014
	地域産業振興促進	9	327,338	206,075	8	233,030	141,256
	計	27	1,870,656	1,029,295	25	2,105,166	896,084
震災 対策 パッ ケージ	災害に対応する産業活動 基盤の強化	3	818,764	132,765	3	995,191	139,408
	防災体制の整備	6	282,900	252,307	6	71,810	48,310
	計	9	1,101,664	385,072	9	1,067,001	187,718
合計		36	2,972,320	1,414,367	34	3,172,167	1,083,802

(3)富県宮城推進基金の概要

(単位:千円)

	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算
基金積立額	2,170,000	2,472,000
基金充当額	1,414,367	1,083,802

※「みやぎ発展税」の税収は、まず富県宮城推進基金に積み立てて、その後当該基金から一般会計繰入金として活用事業に充当